

北海道函館市・北斗市・七飯町における基本計画の概要

計画のポイント

函館市・北斗市・七飯町は、港をベースとする水産・海洋関連産業を中心に発展し、イカ加工珍味などの食料品製造業や造船業、機械金属関連の製造業が集積している。また、IT産業の下支えとなる電子部品関連企業の集積のほか、システム情報科学に特化した公立はこだて未来大学や、ものづくり技術などの先端技術を有する函館工業高等専門学校などの高等教育機関も集積している。こうした地域特性のもと、近年では積極的にIoT・AI関連企業の研究開発拠点を誘致し、新産業創出や雇用拡大を目指している。

これら地域特性を活かし、IoT、AI等を活用し企業の人手不足への対応や生産性向上を図り、付加価値向上を目指す。

促進区域

北海道函館市・北斗市・七飯町

経済的効果の目標

- ・ 1件あたり平均40百万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を4件創出。
- ・ これらの地域経済牽引事業が促進区域で2倍の波及効果を与え、促進区域で320百万円の付加価値額を創出することを目指す。

制度・事業環境の整備

- ・ 不動産取得税、固定資産税の減免措置の創設
- ・ IT活用による生産性向上への支援
- ・ 地方創生関係施策
- ・ 函館市の公共データのcsvデータ化、事業者ニーズに応じた必要な公共データの提供（オープンデータ化）
- ・ 事業者からの事業環境整備の提案への対応
- ・ 事業継承・事業再編の重要性やそれらに対する支援等についての周知
- ・ 研究開発・販路開拓等への支援
- ・ 企業誘致の促進

地域経済牽引支援機関

- ・ 未来AI研究センター
- ・ 北海道立工業技術センター
- ・ (公財)函館地域産業振興財団
- ・ 公立はこだて未来大学
- ・ 函館工業高等専門学校
- ・ 北海道立函館高等技術専門学院
- ・ (株)日本政策金融公庫函館支店

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること】

当該地域における公立はこだて未来大学等の人材を活用した、**第4次産業革命（IoT・AI技術等）**

【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・ 事業計画期間を通じた地域経済牽引事業による付加価値増加分が3,920万円超

【要件3：経済的効果が見込まれること（①～③のいずれか）】

- ・ 事業計画期間を通じた地域経済牽引事業により、促進区域内において
 - ①取引額：3%増加
 - ②売上：3%増加
 - ③雇用者数：3%増加

計画期間

計画同意の日から平成34年度末日まで